



ONS 15454 SDH MIC-A/P カードの 取り付け手順

製品名 : 15454E-AP-MIC48V=

このマニュアルでは、MIC-A/P カードの機能、取り付け手順、取り外し手順、および技術仕様について説明します。MIC-A/P カードを取り扱う場合、このマニュアルは『Cisco ONS 15454 SDH Installation and Operations Guide』および『Cisco ONS 15454 SDH Troubleshooting and Reference Guide』と併せて参照してください。

このマニュアルの内容は次のとおりです。

- [MIC-A/P フロント マウント 電気回路接続カード \(P. 2\)](#)
- [MIC-A/P カードの仕様 \(P. 4\)](#)
- [取り付け手順 \(P. 5\)](#)
- [取り外し手順 \(P. 7\)](#)
- [関連マニュアル \(P. 8\)](#)
- [マニュアルの入手方法 \(P. 8\)](#)
- [テクニカル サポートに関する問い合わせ \(P. 9\)](#)

このマニュアルで説明する手順は次のとおりです。

[取り付け手順 \(P. 5\)](#)

[カードのターンアップ \(P. 6\)](#)

[MIC-A/P カードがターンアップしたかどうかの確認 \(P. 6\)](#)

[取り外し手順 \(P. 7\)](#)



(注)

回線およびカードの機能については、『Cisco ONS 15454 SDH Installation and Operations Guide』を参照してください。

MIC-A/P フロント マウント電気回路接続カード

MIC-A/P カード (図 1 参照) は、2 つの冗長電源入力のどちらか一方に接続できます。また、8 個のアラーム出力 (TCC-I カードからの)、16 個のアラーム入力と、4 個の設定可能なアラーム入 / 出力 (今後のリリースで新しい AIC-I カードと共に使用) の接続も提供します。このカードは、ONS 15454 SDH サブラック Electrical Facility Connection Assembly (EFCA; 電気ファシリティ接続アセンブリ) エリアの中央にあるスロット 23 に取り付けます。



(注)

シスコでは、MIC-A/P または MIC-C/T/P カードのいずれか 1 つだけで ONS 15454 SDH を運用することを推奨しません。またその運用もサポートしません。このような運用では電源入力が冗長構成でなくなるだけでなく、他方のカードの追加機能も使用できなくなります。システムの安全性を保護するために、常に冗長構成で運用してください。

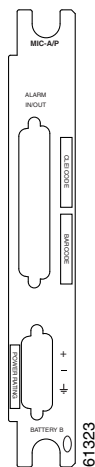


(注)

システムを正常に動作させるには、MIC-A/P カードと MIC-C/T/P カードの両方をシェルフに取り付ける必要があります。

図 1 に MIC-A/P の前面プレートを示します。図 2 にブロック図を示します。

図 1 MIC-A/P の前面プレート

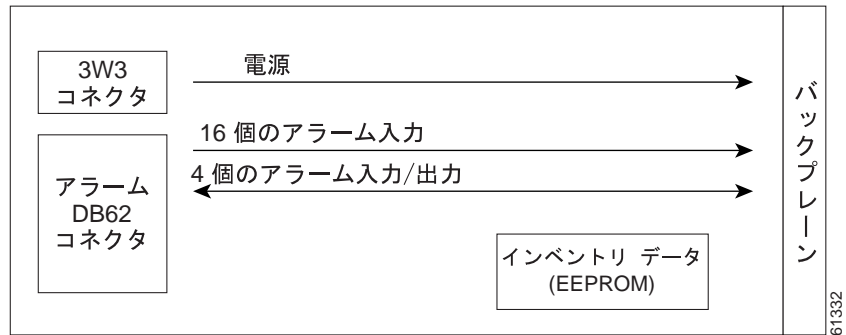


MIC-A/P カードは ONS 15454 SDH の EFCA にあるスロット 23 に取り付けます。

次に、MIC-A/P カードの機能の概要を示します。

- 2 つの可能な冗長電源入力のどちらか一方への接続
- 8 個のアラーム出力 (TCC-I カードからの) への接続
- 4 個の設定可能なアラーム入出力 (今後のリリースで新しい AIC-I カードからの) への接続
- 16 個のアラーム入力 (今後のリリースで新しい AIC-I カードからの) への接続
- 製造とインベントリのデータの保管

図 2 MIC-A/P のブロック図



MIC-A/P カードのカード レベルのインジケータ

MIC-A/P カードには、カード レベルの LED はありません。

MIC-A/P カードの仕様

- MIC-A/P の電源入力
 - － システムへの入力電圧：公称 -48V DC
許容制限：-40.5 ～ 57.0V DC
 - － コネクタ：3WK3 Combo-D 電源ケーブル コネクタ
- MIC-A/P アラーム出力（将来のリリース）
 - － 電圧（開接点）：最大 60V DC
 - － 電流（閉接点）：最大 250mA
 - － コネクタ：62 ピン DB コネクタ（入力 / 出力に共通）
- MIC-A/P アラーム入力（将来のリリース）
 - － 電圧（開接点）：最大 60V DC
 - － 電流（閉接点）：最大 2mA
 - － コネクタ：62 ピン DB コネクタ（入力 / 出力に共通）
- 動作環境
 - － 動作温度：-5 ～ +45 °C
 - － 動作湿度：5 ～ 95%、結露がないこと
 - － 消費電力：0.13 W、(TCC-I からの 5V の供給時)、0.44 BTU/時
- 寸法
 - － 高さ：182Mm (7.165 インチ)
 - － 幅：32Mm (1.25 インチ)
 - － 奥行き：92Mm (3.62 インチ)
 - － バックプレーン コネクタを含めた奥行き：98Mm (3.87 インチ)
 - － クラム シェルを含まない重量：0.2Kg (0.5 ポンド)
- 準拠規格

ONS 15454 SDH カードをシステムに取り付けると、次の規格に準拠します。

- － 安全性：IEC 60950、EN 60950、UL 60950、CSA C22.2 No. 60950、TS 001、AS/NZS 3260

取り付け手順

初めて MIC-A/P カードを取り付け、取り外しする場合は、この手順を行ってください。ONS 15454 SDH カードの取り付け、ブート手順に慣れた後は、参考として使用してください。

**注意**

ONS 15454 SDH を扱う場合は、付属の静電気 (ESD) 防止用リストバンドを必ず着用してください。リストバンドのケーブルを、シェルフ アセンブリの右下の角にある ESD ジャックにつなぎます。また、シェルフ アセンブリが確実にアースされていることを確認します。

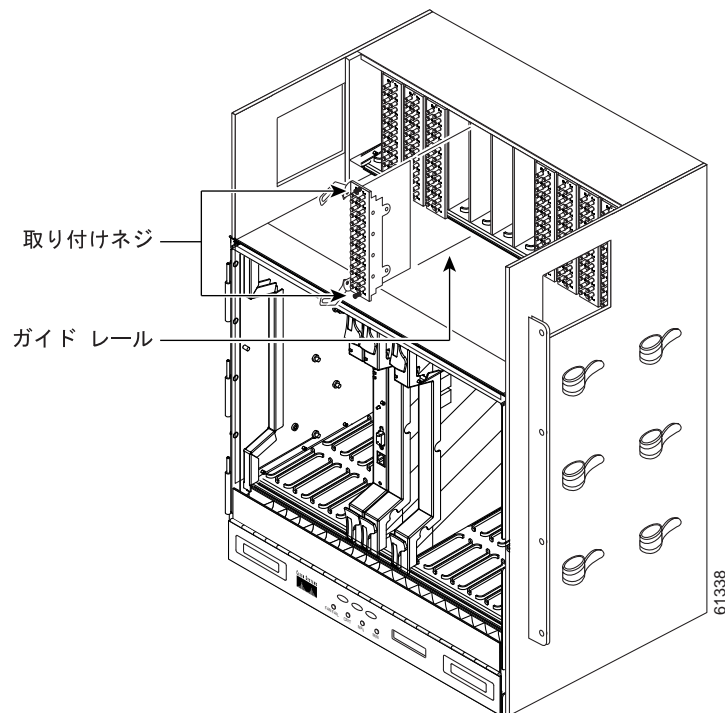
**注意**

システムの稼働中は、危険な電圧やエネルギーがバックプレーン上に存在する可能性があります。作業中は十分注意してください。

- ステップ 1** スロット 23 のガイド レールにカードを慎重に挿入します (図 3 (P. 6))。
- ステップ 2** 上部イジェクタを下に動かし、下部イジェクタを上動かしてカードをバックプレーン コネクタに挿入します。
- ステップ 3** カードをバックプレーンのコネクタにゆっくりと押し込みます。
- ステップ 4** 前面の取り付けネジをプラス ドライバまたはマイナス ドライバで締めます。

MIC-A/P カードには、シェルフ アセンブリ バックプレーン上の電気コネクタに接続する電気接続プラグがあります。上部イジェクタと下部イジェクタを完全に閉じ、取り付けネジを締めると、カードがシェルフ アセンブリ バックプレーンに差し込まれます。図 3 (P. 6) に、カード取り付けの概略を示します。電源ケーブルの接続については、『Cisco ONS 15454 SDH Installation and Operations Guide』の第 1 章「Installation」を参照してください。

図3 ONS 15454 SDH への FMEC カードの取り付け



カードのターンアップ

ここで説明する手順に従って、カードがターンアップしたかどうかを確認します。MIC-A/P カードがターンアップしたかどうかの確認 (P. 6) の手順に従って Cisco Transport Controller (CTC) ソフトウェア画面を確認し、状況が合っていない場合はカードを取り付け直します。状況が合致しない場合は、装置を交換してください。

MIC-A/P カードがターンアップしたかどうかの確認

-
- ステップ 1 シェルフアセンブリに電源が入っていることを確認します。
 - ステップ 2 MIC-A/P カードがスロット 23 に取り付けられていることを確認します。
 - ステップ 3 CTC ソフトウェア画面で、このカードがスロット 23 に表示されていることを確認します。
 - ステップ 4 CTC ソフトウェアの画面で、カードが白く表示されていることを確認します。
 - ステップ 5 CTC ソフトウェアの画面で、カードが **Inventory** に表示されていることを確認します。
-

取り外し手順

初めて MIC-A/P カードを取り付け、取り外しする場合は、この手順を行なってください。ONS 15454 SDH カードの取り付け、ブート手順に慣れた後は、参考として使用してください。



注意

ONS 15454 SDH を取り扱う場合は、必ず付属の静電気防止用 (ESD) リストバンドを着用してください。リストバンドのケーブルは、シェルフ アセンブリの右下の角にある ESD プラグに差し込みます。また、シェルフ アセンブリが確実にアースされているか確認してください。



注意

システムの稼働中は、危険な電圧やエネルギーがバックプレーン上に存在する可能性があります。作業中は十分注意してください。

ステップ 1

システムにトラフィックがある場合は、MIC-C/T/P カードの冗長電源入力で正しく電源が入っていることを確認してください。



(注)

電源が入っていない場合は、トラフィックが失われます。



注意

やけどの恐れがあるので、電源の回路ブレーカーのスイッチを切ってから電源ケーブルを抜いてください。

ステップ 2

MIC-A/P カードのケーブル コネクタをすべて取り外します。後からの取り付けに備えて、忘れずにすべてのコネクタやケーブルに印を付けてください。



(注)

FMEC から同軸ケーブルを取り外すには、コネクタの外側のリングを引いてからコネクタを取り外します。外側のリングを引いてコネクタのロックを解除しないでケーブルを取り外すと、ケーブルやコネクタ、またはその両方が損傷することがあります。

ステップ 3 前面の取り付けネジを緩めます (図 3 (P. 6))。

ステップ 4 上部イジェクトを上に動かし、下部イジェクトを下に動かしてバックプレーン コネクタからカードを取り出します。

ステップ 5 注意して、シェルフからカードを取り外します。

関連マニュアル

- DOC-7813038= *Cisco ONS 15454 SDH Installation and Operations Guide*
- DOC-7813037= *Cisco ONS 15454 SDH Troubleshooting and Reference Guide*

マニュアルの入手方法

ここでは、マニュアルの入手方法について説明します。

Web サイト

日本語のマニュアルは、次の Web サイトで入手できます。

<http://www.cisco.com/jp/>

最新の英文マニュアルは、次の Web サイトで入手することができます。

<http://www.cisco.com>

各国言語のマニュアルは、次の Web サイトで入手することができます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

Documentation CD-ROM

マニュアルおよびその他の資料は、製品に付属の CD-ROM パッケージに収録されています。この Documentation CD-ROM は、毎月更新されるので、印刷資料より新しい情報が得られます。この CD-ROM パッケージは、CD-ROM 単位でも年間契約でもご利用いただけます。

マニュアルの注文方法

日本語のマニュアルは、次の Web サイトでご注文いただけます。

<http://www.cisco.com/jp/>

テクニカル サポートに関する問い合わせ

テクニカル サポートについては、製品をお買い上げの弊社販売代理店にお問い合わせください。

Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。

Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register>

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると妨害電波を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対応を講ずるよう要求されることがあります。

このマニュアルは、「[関連マニュアル](#)」にリストされているマニュアルと併せて参照してください。

CCSP、Cisco Square Bridge のロゴ、Cisco Unity、Follow Me Browsing、FormShare、および StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービス マークです。Aironet、ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCIP、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Empowering the Internet Generation、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherFast、EtherSwitch、Fast Step、GigaDrive、GigaStack、HomeLink、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、Linksys、MeetingPlace、MGX、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、ProConnect、RateMUX、Registrar、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、StrataView Plus、SwitchProbe、TeleRouter、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、TransPath、および VCO は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。

このマニュアルや Web サイトで言及されたその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもので、「パートナー」という用語は、シスコとその販売代理店が合資関係にあることを示すものではありません。(0406R)

Copyright © 2002, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501